



aeroTAP 空間 3D インターフェイス

3D 映像には、3D インターフェイスを

www.aerotap.com



空間 3D インターフェイスは、空中映像、ホログラム映像、VX 映像の没入感を引き出し、直感的な空間操作のために設計したインターフェイスです。

オペレータは、3D 映像やモデルを視野を妨げることなく没入感を維持したまま自然な操作感を体験できます。

対応機器：

MIRAI PIX(空中ディスプレイ)^{*1}

利用用途

- ・医療、教育
- ・博物館、科学館の資料展示
- ・ゲーム、エンターテインメント



MIRAI PIX(空中ディスプレイ) 操作例

aeroTAP 空間 3D インターフェイスは、信州大学医学部山田哲教授(特定雇用)指導の下に開発されました。

^{*1} MIRAI PIX(空中ディスプレイ) は、MIRAI BAR 株式会社の製品です。

<https://mirai-bar.co.jp/>

3D インターフェイスは、特許出願中の技術です。

aeroTAP (エアロタップ)、およびタッチレスインターフェイスは、株式会社ネクステッジテクノロジーの登録商標です。

 **MIRAI BAR**

nextEDGE
TECHNOLOGY



aeroTAP 3D USB カメラ

「aeroTAP3D USBカメラ」はステレオビジョン方式の3Dカメラです。USB3.0または2.0接続することで、距離データとカラー画像を取得することができます。電源供給もバスパワーとなり、簡単に扱うことができます。

aeroTAP evo タッチレスインターフェイス

タッチレスインターフェイス「aeroTAP」は、非接触でコンピュータを操作するためのソリューションです。

様々な用途でのタッチレス化を可能にします。

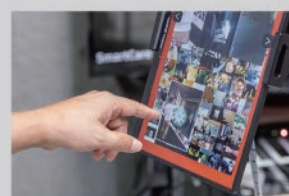
手のひらトラッキングモード

「手のひらトラッキングモード」では、カメラから50cmから2.5mの離れた位置でコンピュータの操作を可能にします。



仮想タッチスクリーンモード

「仮想タッチスクリーンモード」では、既存のタッチスクリーンや通常モニターで非接触でタッチスクリーン操作を可能にします。



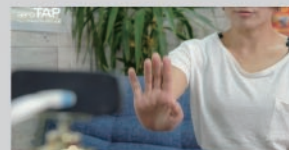
既存システムの変更不要

既存のシステムを変更することなくタッチレス化ができるため、例えば医療現場などで使われる重要で複雑なシステムのタッチレス化も容易に行えます。

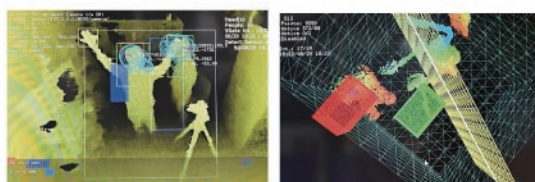


CPU消費が低い

通常3D画像処理や形状認識では多くの計算が必要で、高性能PCが必須ですが、CPU消費が他に見えないほど小さく、高価なPCを必要としないことも特徴です。



Smartセンサー：AI×3D技術

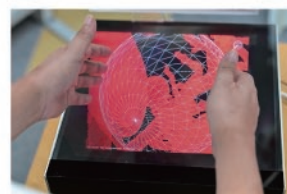


Smartセンサーは、プライバシーに配慮した見守りセンサーです。

Smartセンサーは、3Dデータを分析・学習したAIにより、深度画像から人物の各種姿勢や頭部を認識し、追跡することで、プライバシーに配慮した見守りや作業動作分析を可能にします。

また、空中センサー、仮想ゲート、仮想ケージなど自社の3D技術を使って、見守りに必要な危険な事象を検出します。

トイレや着替えなど、利用者のプライバシー保護を必要とする空間はもちろん、作業効率化や危険行動探知などの目的で、製造現場への導入も進んでおります。



空間3Dインターフェイス

空中3D映像を直感的に操作するための、ホログラムインターフェイスを開発し、多様なコンテンツのタッチレス操作に対応してきました。